

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

平成 30 年度 第 6 回理事会

議 事 録

日 時：2019 年 5 月 26 日（日）13：00～16：20

場 所：日本財団ビル 2 階 第一・第二会議室

出 席 者：椎名茂、古市隆一、隅野礼雄、大日方邦子、渡辺孝次、二星謙一、菅間賀巳、荒井秀樹、中村勝彦、東海林史朗、小林清美、夏目堅司、徳田康、新田佳浩、狩野亮、井上真司、
(16 名)

委任出席：安藤佳代子、岩間秀子、山口聖子、内海けい、桜本利幸
(5 名)

出席監事：宮田隆司、大内智 (2 名)

椎名会長より定足数の確認がなされ、21 名中 21 名出席（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局石丸が指名された。

会長より挨拶があり、次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

椎名会長挨拶

一年、無事に事業が執り行われた。皆さんありがとうございます。

【審議事項】

(1) アルペン委員長の変更について

古市さん：椎名さんがアルペン委員長に就いているが、大日方さんが強化本部長と兼任でアルペン委員長に就くことの提案があった。

新田さん：委員会毎のパワーバランスに違いが出るように思うが如何ですか？

荒井さん：強化本部長がアルペン委員長を兼任することは本来の姿ではない。

椎名さん：現在の人員では兼任でも一歩前進になる。早い機会にアルペン委員長を選任出来るように考えている。

* 全員一致で承認された。

(2) アンチドーピング委員会の委員について

大日方さん：岩間さんに代わり岩間委員長から委員候補者提案についての説明があった。今後の直接 JADA 加盟の準備としても情報共有が必要。

* 全員一致で承認された。

(3) 新役員の追加について

古市さん：選出委員会から 4 名の理事候補者の推薦があったことと 4 名の略歴について報告があった。

椎名さん：4 名について補足説明があった。

*総会に理事候補議案として上程することについて、候補者一人ずつ確認したところ全員一致で承認された。

(4) 法人カード利用者の変更について

渡辺さん：ノルディックチーム内での変更、荒井さんから小館さんに利用者変更の申請があった。

*全員一致で承認された。

(5) 次世代アスリート選考規程の修正について

大日方さん：パラとIDの2つの規程にする。規程の変更の趣旨についての説明があった。現場の委員長に裁量を持たせることが出来るようになる。

荒井さん：ノルではJPSポイント対象大会が実施されていないので、修正が必要。IDアスリート選考規程第2条第1項5号を修正する。「JPSが指定する選考大会」に修正する。「10位以内入賞の実績があり」を削除する。

*以上の変更を条件に全員一致で承認された。

(6) 強化戦略プランについて

大日方さん：強化戦略プランについての概略の説明があった。第一部は競技団体共通、第二部は競技団体別に記載されている。

荒井さん：第一部財務計画について「会員数の拡大」を具体的会員数で表記したほうがいい。

第二部について各委員長から説明がなされた。

大日方さん：現状と目標・戦略方針についての内容の詳細説明があった。

渡辺さん：クロカンとバイアのすみ分けをしないと成績が残せなくなる。クラス・ファクターに変更があると戦略の見直しもせざるを得ない。シットの人数が少ない。東京パラからの競技変更に期待。

二星さん：今シーズンは準備の年で合宿に力を入れる。コースビルダーがいないと競技練習が出来ない。

*説明した内容に沿って今後微調整をしながら5月中にJSCへ報告することについて、全員一致で承認された。

(7) 強化指定選手選考基準について

大日方さん：5チームの選考基準を横並びに比較した表について説明があった。

今後調整した選考基準に従って強化指定選手を次回理事会に推薦します。

*選手選考基準の大枠についての承認と最終調整・修正を強化本部長に一任することについて、全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 各委員長（アルペン・ノルディック・スノーボード・広報マーケティング・普及）からの2018年シーズンの活動の振り返り

椎名さん：皆さん資料を見ておいてください。

(2) 普及委員会からの2019年度の事業計画について

椎名さん：安藤委員長が欠席されましたので皆さん資料を見ておいてください。

(3) スポンサーカップ・感謝のタベ、その他について

隅野さん：スポンサーカップは各チームから選手の参加があり交流が深められた。

感謝のタベ、スポンサー70名程の参加予定。

コーセイ社がゴールドパートナーに決定した。

リザルト配信についての協力、JPS ニュースの発行に協力をお願いします。

(4) スポーツフォーラム報告

大日方さん：5/6～5/8にセルビアで開催された。2年に一度、大日方・石井・荒井・綿谷・小林ドクターが参加。

今後のスケジュールが示された。

世界選手権は、2021年にリレハンメル・2023オーレで3競技とも開催される。

ロシアが参加することになりサハリンでワールドカップが向こう3年間開催される。

ルール・クラス・実施種目についての話し合いがあり、スノーボードは女性選手の参加が少ないので、パラ種目から外される可能性あり。

クラス分け：3クラスありファクターを掛けているが、ファクターを取り除く提案がIPCからあった。(2026年までに)アルペンは視覚障害4クラスに。

荒井さん：視覚障害は2クラスに。(参加者を増やすため)

(5) 公益法人化の進捗と2019シーズンユニホームについて

菅間さん：公益化について、現状と今後について説明があった。

公益化後の会員に対してのサービス提供や会員数の増加をどうするかを検討する必要がある。

ユニフォーム納品までのスケジュールの説明。6/5に最終発注。11月初旬納品。今後、アイテム数や着用基準について検討要。強化指定選手が決まっていないので、発注数について報告します。

(6) アスリート助成の推薦と専任スタッフについて

石丸：アスリート助成では連盟に9人の枠が割り振られた。資料の通り9人を推薦しています。決定にはしばらく時間が掛かります。

専任スタッフは資料の通り6名が認定されました。

(8) パラサポ助成金について

石丸：資料の通りに、パラサポ助成金の申請が通りましたので、各事業の担当者は事業を早めに進めることをお願いします。チェアスキー・シットスキー購入と体験会の実施は計画的に進めてください。

(8) 強化本部会議報告

大日方さん：新年度の強化費配分額が見えてきた。団体拠出金を増やさないと選手負担にせざるを得ないことが判明した。連盟負担金(スポンサー収入の割り当て)増額が必要。今後の課題として助成金以外の収入を増やすこと。次世代選手の発掘が急務。

次回の会議は10月に予定。

【協議事項】

(1) 2020ジャパパラ代替大会・2021年アルペンワールドカップ日本開催について
大日方さん：ジャパパラ代替は手稲を候補地にしている。第二候補は菅平。第三は白馬。
2月1~2週を予定。ワールドカップについては、IPCの動きによるが札幌でノルディック
と同じような体制での開催を検討している。

(2) 女性委員会・トレーナー部会の新設について

大日方さん：JPCヒヤリングにおいて、女性委員会設置が求められている。選手・スタッフの女性割合を増やすことが必要。

トレーナー部会によって各委員会のトレーナーの横の繋がりや情報共有を図りたい。
次の理事会までに詳細をまとめて設置について審議してもらいます。

以上、審議事項、報告事項が全て審議、報告され、議長より閉会の通告があり、理事会を終了した。

2019年5月26日

議事録署名人

会 長 椎名 茂

理事 古市 隆一

理事 隅野 礼雄